

1年学年だより

令和3年4月8日

4号

夢の宅配便

小田原市立城山中学校
学年主任 水野 喜代治

一人一役！

私達は誰もひとりでは、生きていくことはできません。人は組織を作って誰もが過ごしやすい社会を築いていきます。一人ひとりには個人差があります。勉強の得意な人も苦手な人もいますし、スポーツが得意な人も苦手な人もいるでしょう。個人差はありますが、誰一人すべてが備わった完璧な人は存在しません。ですから、人は組織して、みんなの力を結集してより良い社会を作り上げていきます。

大人になると、必ず何かの組織に入って、自分のできることで社会に貢献していきます。小学生の時は、多くの部分を先生にやっていただいたり、家族の方々に助けってもらったりして生活してきたと思います。何もしなくても、誰かが手を差し伸べてくれたはずです。中学生になるとほとんど大人と同じように組織的に生活することが求められてきます。一人ひとりができる範囲で組織の一員として仕事を分担して生活することが求められてきます。私達の社会は、一人一役なのです。社会の組織の中で、自分のできることを見つけて、働きかけていくことが大事です。なぜなら、誰もが、誰かに助けられているからです。

今日は、学級の組織や生徒会の組織を決める日でした。係や委員会の分担をしましたが、どのクラスも、自信がなくて、なかなか委員や係が決まらなかったところもあったと思います。そんな中、誰かが、みんなのために、立候補してくれた友達がいたと思います。誰かのために、行動できることはとても素晴らしいと思います。立候補した友達を支えて、自分たちの代表をバックアップできる集団を作っていきましょう。一人一役、自分が任された係や委員会を責任持って頑張ってください。応援しています。

2年生の先生……高橋先生からメッセージを頂きました！

みなさん初めまして。2年生の副担任をしています、高橋百合（たかはしゆり）と言います。

昨日、身体計測や聴力検査がありました。私はその手伝いをしていましたが、1年生の姿に感動しました。部屋に入ってきたときに、「お願いします」や、終わったあとに「ありがとうございました」とみんなが言ってくれたのです。これは当たり前なのですが、簡単にできることではありません。しかも、1年生は城山中学校に来てまだ3日目。慣れずに緊張しているなかで、そのような声が聞こえて、とてもうれしかったです。階段をすれ違う時にも、「こんにちは」と元気にあいさつをしてくれました。

水野先生と私は、1ヶ月前の3月11日に、3年生を卒業させたばかりです。別れてしまった寂しい気持ちもある中で、みなさんに救われた気がします。嬉しかったので、水野先生に話して、書かせてもらうことにしました。ぜひ城山中学校の一員として、これからも元気なあいさつを聞かせてくださいね。

2年生副担任 高橋 百合